

重要文化財

横浜市開港記念会館の特徴とその魅力

- 近代建築の最初期の保存・再生の事例として -

2025年1月30日(木)
13:30~15:30

【講演概要】

横浜は早くから洋風建築を取り入れ、新しい建築の流行を反映してきた。しかし、大震災や戦災の影響で、戦前期の建築遺構は少なくなっている。

横浜市開港記念会館は、大正6年に竣工した煉瓦造の建物で、震災で被害を受けながらも修理され、現在も大正期の建築様式を伝える貴重な存在である。

今回は、開港後から戦前期の建築の歴史を振り返りながら、開港記念会館の特徴と魅力を紹介する。

参加費 500円 先着200名 (要事前申込)

会場 横浜市開港記念会館

申込方法 インターネット KUポートスクエア またはお電話にてお申し込みください。
※申込締切1月23日(木)

主催 神奈川大学エクステンションセンター
共催 横浜市開港記念会館

お問合せ 神奈川大学エクステンションセンター〈KUポートスクエア〉
TEL:045-682-5553 e-mail:info@ku-portsquare.jp
※事務取扱時間 9時~17時 月~土(日曜・祝日・大学所定の休日を除く)

講師



内田 青蔵 氏

Uchida Seizo

横浜市開港記念会館名誉館長
神奈川大学建築学部 特任教授

1953年 秋田県生まれ。
1975年 神奈川大学工学部建築学科卒業
1983年 東京工業大学大学院
理工学研究科建築学専攻博士課程退学
1997年 文化女子大学造形学部教授
2007年 埼玉大学教育学部教授
2009年 神奈川大学工学部建築学科教授
2022年 神奈川大学建築学部長(初代学部長)
2024年 神奈川大学建築学部特任教授(現職)



(申し込みQR)